

2026年6月17日

各 位

豊田市元城町1丁目48番地
豊田信用金庫
理事長 大橋 宏

2025年度（2026年3月期）決算

2025年度の決算について、以下のとおり公表いたします。

（単位：百万円、単位未満切捨て表示）

	2024年度	2025年度	対前年度増減	
			金額	比率
預金積金残高	1,887,321	1,848,291	△39,030	△2.06%
貸出金残高	954,686	984,424	29,738	+3.11%
コア業務純益	3,477	2,955	△521	△15.00%
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	3,442	2,826	△616	△17.91%
経常利益	3,839	3,135	△703	△18.33%
当期純利益	2,857	2,353	△503	△17.63%
自己資本比率	10.15%	10.23%	+0.08ポイント	
不良債権比率	2.93%	2.72%	△0.21ポイント	

【預貸金の状況】

- ・預金残高は、前年度比390億円減少し1兆8,482億円となりました。
預金減少の主な要因は、公金預金入札金利の急騰を受けて、経済合理性の観点から落札を見合わせたことで公金預金が931億円減少したことによるものです。
一方、「お客様の信用・信頼のバロメーター」である個人・法人のお客様からの一般預金は540億円増加しており、安定した預金基盤を維持しております。
- ・貸出金残高は、事業者の皆様への継続支援ならびに個人のお客様への住宅ローン等の供給に努めた結果、同297億円増加し9,844億円となりました。

以下次頁

本件に関するお問い合わせ先

豊田信用金庫 経営企画部

電話：0565-36-1376

【損益の状況】

- ・収益面では、市場金利の上昇等に伴い貸出金利息収入が前年度比 20 億円増加、預け金利息収入が同 13 億円増加したこと等により資金運用収益が同 39 億円増加いたしました。
また、堅調な預かり資産販売による手数料収入増加により役務取引等収益が同 2 億円増加、株式売却益が同 18 億円増加いたしました。
- ・費用面では、政策金利引上げ等の影響から、お客様にお支払いする預金利息が同 44 億円増加いたしました。
また、投資効率の改善及び金利上昇に伴う将来的なリスクの抑制を目的として、含み損のある債券を一部売却したことにより国債等債券売却損を 28 億円計上いたしました。
- ・以上より、経常利益は 31 億円（同 7 億円減少）、当期純利益は 23 億円（同 5 億円減少）となりました。

【健全性】

- ・自己資本比率は前年度比 0.08 ポイント上昇し 10.23%となりました。国内基準の 4%、国際基準の 8%を上回っており、当金庫の経営体質は健全な水準となっております。
- ・不良債権比率は、同 0.21 ポイント改善し 2.72%となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

豊田信用金庫 経営企画部

電話：0565-36-1376